

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号100

千葉県立長生高等学校 全日制の課程 理数科

1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

- ア 自ら学び、考え、直面する課題の解決に挑戦する生徒
- イ 高い志を持ち、粘り強く努力を続けることができる生徒
- ウ 大学や研究所、海外などで、体験的な学習に取り組む意欲のある生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（作文）	字数：400字以上500字以内 検査時間：40分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	40点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔145点満点〕

アの数値に、ウについて加点（上限10点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が20日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動で特に顕著な実績がある場合は、加点する。資格については、実用英語技能検定準2級以上を加点の対象とする。
エ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（作文）〔10点満点〕

2名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（aa～cc）で得点化する。評価の組合せにccがあるものは、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数	指定された字数に対して過不足がない。
イ 内容	与えられたテーマに対して内容が適切であり、全体としてまとまりがある。
ウ 文章表現	誤字や脱字がなく、文法が正しく用いられ、文章表現が優れている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（作文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K＝1）	加点	作文	
500点	135点	10点	10点	655点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。